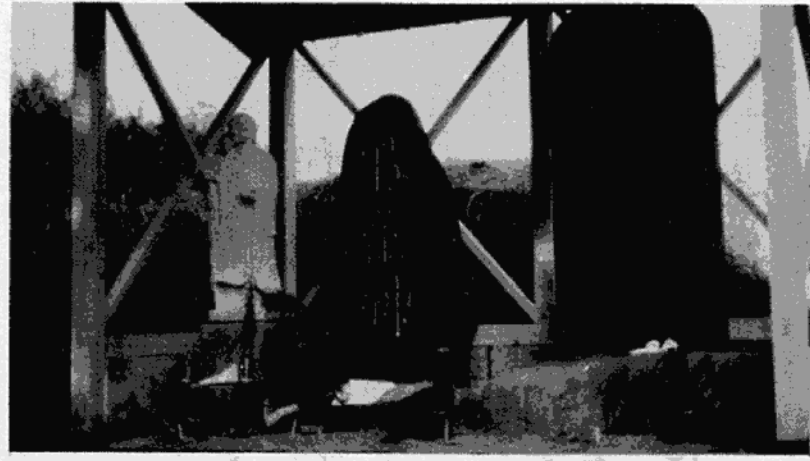


勝善神



改修された勝善神

昔から農業を主とする和泉地区には、馬頭観音様、別名勝善神があります。今までの勝善神は、明治三十一年に建てられたもので、永年の風雪に上屋も壊れ、昔から伝わっているいわれをたどることもむずかしくなっていました。このほど、農家の人たちの奇進と労力奉仕で、勝善神の改修を行いました。

みんなのひろば

の婦人たちの奇進により、水子地蔵尊も建てられました。

善意銀行

十二月中に、日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に、厚く感謝いたします。(敬称略)

- ◎市内要援護者に ▽金田為次郎(中宮祠)千円 ▽知野イネ(稲荷町三丁目)三千円 ▽日光東照宮社務所(山内)七千円 ▽日光青年会議所(安川町)三万九千七百四十七円
- ◎老人福祉に ▽鶴島俊一郎(安川町)三千円 ▽小森谷タマ(御幸町)二千元 ▽渡辺了三(中鉢石町)五万円
- ◎下野三楽園に ▽竹沢啓三(下鉢石町)千円
- ◎心身障害児父母の会に ▽小林芳樹(匠町)一万元
- ◎市内身体障害者(児)に ▽親和会孔版社有志(清滝二丁目)四千元 ▽所野婦人会(所野)一万元
- ◎市内の恵まれない子に ▽植木善見(匠町)二千元
- ◎市内交通遺児に ▽匿名 四千元
- ◎精神薄弱者に ▽小幡キク(松原町)二千元
- ◎晃明荘に ▽日光新生教会(清滝一丁目)一万元

物品預託

▽氏家老人ホームへ 晃慈会 うどん・そば・よせ鍋・飲物・民謡踊り ▽寝たきり老人へ 鶴島アヤ(安川町)オシメ六〇枚 ▽市内援護者へ 木下久雄 都はるみ ショール入場券(二千五百円)五十枚 ▽市内施設へ 稲荷町一丁目老人クラブ 雑布百枚 ▽老人家庭へ 大島光吉(下鉢石町)布団カバー十四箱・敷布 ▽寝たきり老人へ 日光市役所婦人部 オシメ 二百六枚 ▽老人福祉に 大橋通男(清滝二丁目)ポータブルトイレ・紙オムツ十五包

香典返し廃止による寄付

◎寝たきり老人に ▽大橋通男(清滝二丁目)五万円

◎社会福祉事業に ▽山本阿久里(清滝三丁目)五万円

◎老人福祉に ▽柴田光男(若杉町)十万元 ▽岸野茂(御幸町)二十万円

歳末助け合い運動寄付

十二月一日から年末まで、歳末助け合い運動が、全国いっせいに行われましたが、日光においても、暖かい善意の募金が、多くの方々から寄せられました。早速恵まれない人たちに贈り、大変感謝されました。歳末助け合い運動のご協力者は次の方々です。(敬称略)

- ▽村中良子 千五百円 ▽明るい社会づくり推進協議会 八万六千六百八十五円 ▽神山印刷所従業員一同 三千四百四十五円 ▽村田芳枝 八千二百五十三円 ▽元山光広 一万元 ▽川津俊光 六万円 ▽西町太子会 一万元 ▽観音寺 二万一千三百五十円 ▽日光総合病院親和会 二万七千七百七十一円 ▽日光和敬会 一万元 ▽グループVOA 二万七千円 ▽日光山中禅寺経典読誦会一同 二万円 ▽匿名 一万八千円 ▽日光地区労働組合協議会 四万円
- ▽小来川小学校 九千三百五十円
- ▽日光中学校二年一組 三千七百二十円 ▽阿原燃料株式会社職員一同 三千二百円 ▽山内婦人有志 一万元 ▽日光市役所建設課職員一同 千二百七十七円 ▽同福祉事務所窓口 二千三百三十円 ▽同体育課・教育課職員一同 三千六百九十九円 ▽同税務課親交会 四千九百九十円 ▽東電ますみ会 日光地区 千円 ▽宇短大附属高校日光支部 八千四十二円 ▽晃陽書道会児童部一同 六千二百七十八円 ▽小平喜久 一万元 ▽華厳滝エレベーター営業所 一万一千二百三十八円 ▽桜沢徳明・明子 二千元(以上合計 四十一万三千二百六十三円)

地方交付税

暮らしの中の自治用語

ここ数年、国の予算編成期になると、地方交付税が地方財政対策の最大の焦点になっていきます。地方交付税は、地方税と並ぶ地方団体の一般財源の柱です。ところがわが国の場合、地方税収入は地域により著しく偏っています。そこで、すべての地方団体が一定の行政水準を確保して行くためには、この地域間の財源の偏在を調整するとともに、地方団体に所要の財源を確保することが必要ですが、地方交付税はこの機能を果たしています。

地方交付税制度は、国と地方の財源配分の一環として、国税(所得税・法人税・酒税)の一定割合を地方に配分するものです。現在の配分率は三二%ですが、昭和五十年以降は地方財政の悪化により、これだけでは足りず、臨時的にその原資を国庫から借り入れていました。

本年度の地方交付税の総額は約七兆円(歳入の二一%)で、それぞれの団体の収入と財政需要の状況に応じて配分されていますが、一部の富裕団体には交付されません。